

## 【BBCびわ湖放送賞】

### 人を思う気持ちと想像力

米原市立伊吹山中学校 2年 今中 寿音

「人に優しく思いやりのある行動をとる」よく使う言葉の意味について思うことがあります。

私は、その日は母と買い物に出かけていました。お店は駅と併設されているお店で、お土産物なども売っている所でした。私はお土産物を売っている場所の横にあった百円の商品を買うためレジに並びました。私たちの前にいたお客さんは、たくさんお土産物をカゴに入れていて、会計が終わるのに時間がかかりそうでした。私は「嫌だな」と思いましたが、母が黙って並ぶので一緒に待っていました。

しばらくして、店員さんがもう1人来てくれて、使っていなかったレジをあけてくれました。私は「これで待たなくていい」と思いました。店員さんが「どうぞ」と声をかけてくれたので行こうとすると、一緒にいた母が後ろを振り返り、後ろにいたお姉さんに

「電車の時間がおありやないですか。」

と声をかけて、順番を譲ってしまいました。お姉さんは少し驚いた様子で、

「はい。そうなんです。」

と言い、支払いを済ませて母にお礼を言いながら走っていきました。

その後、私たちも支払いをしました。その時に店員さんが、母に「ありがとうございました。」と言っていて、お土産物をたくさん買っていた人からも、母はお礼を言われていました。母は

「こちらこそありがとうございました。」

とお礼を言っていました。私は何があったのかわかりませんでした。

たぶん、数分くらいの出来事でした。母に今何があったのか聞きました。私は、「想像でしかないけどね。」

と言い、説明してくれました。後ろにいたお姉さんが、電車の時間まで少し時間があったのでお土産物を買いに来たのだと思うこと。でもレジが混んでいて困っていたこと。時間を気にしていたので電車の時間が近づいている様子だったこと。お姉さんを助けるためにもう一人の店員さんが来たこと。私たちの前のお客さんも、お姉さんの様子に気がついて心配していたことを説明してくれました。

母も、店員さんも、他のお客さんも、お互いに会話はしていません。誰とも話していないのに、どうしてお姉さんの状況が分かったのか不思議でした。そして、店員さんや他のお客さんも、お互いに協力してお姉さんを助けたのかも不思議でした。

私の母なのに、いつもとは違う、知らない人を見ているような気持ちでした。母は納得できていない私に、それは「大人の人を思う気持ちと想像力」と言いました。私が「わからない」という表情をしていたのかもしれませんが。母は「簡単なことよ」と言い、

「私は、彼女が大切な誰かのために選んだお土産を、彼女に持たせてあげたかったの。あのままだと、彼女は買うのを諦めてしまうかもしれないでしょう。」と言いました。いつもは腹の立つ母です。でも、この日は少しだけ、「この母が私の母で良かった」と思いました。

私は、両親から「人に助けてもらって嬉しかった事は忘れない」「人にされて嫌だったことも忘れない」「何より、自分を大切にする」といつも言われています。一つ目は普通に納得できます。二つ目の「人にされて嫌だった事は忘れない」のは仕返しをするためと思っていたら、「自分が人に同じような嫌な思いをさせないために忘れないと言う事」と説明されました。そして三つ目は「自分を大切に思ってくれる人のために自分を大切にする事」と説明してくれました。

人を思う気持ちを大切にする事は、自分を大切にする事にもつながるのだと理解できました。この三つを大切にすると、人を思う気持ちと想像力を持って相手を見ることができるようになると母は言います。ただ注意をしないといけないのは、「自分や大切な人の命を犠牲にするような行為はいけない」と言いました。母は、自分もまだまだだどいい、私に「頑張りなさい」と言いました。

母親、店員さん、もう1人のお客さんも、今までに困ったことがあったのかもしれないと思いました。困った時、助けてもらって嬉しかったのを覚えていたのかもしれないと思いました。嬉しかったから全く他人のお姉さんを、みんなで心配してしまったのかもしれないと思いました。私は「大人の人思いやりと優しさ」を見ました。誰も嫌な気持ちになる人のいない譲り合いです。誰も犠牲にすることのない。誰も困った人もいない優しさでした。

私もいつか、そんな大人になりたいと思います。